

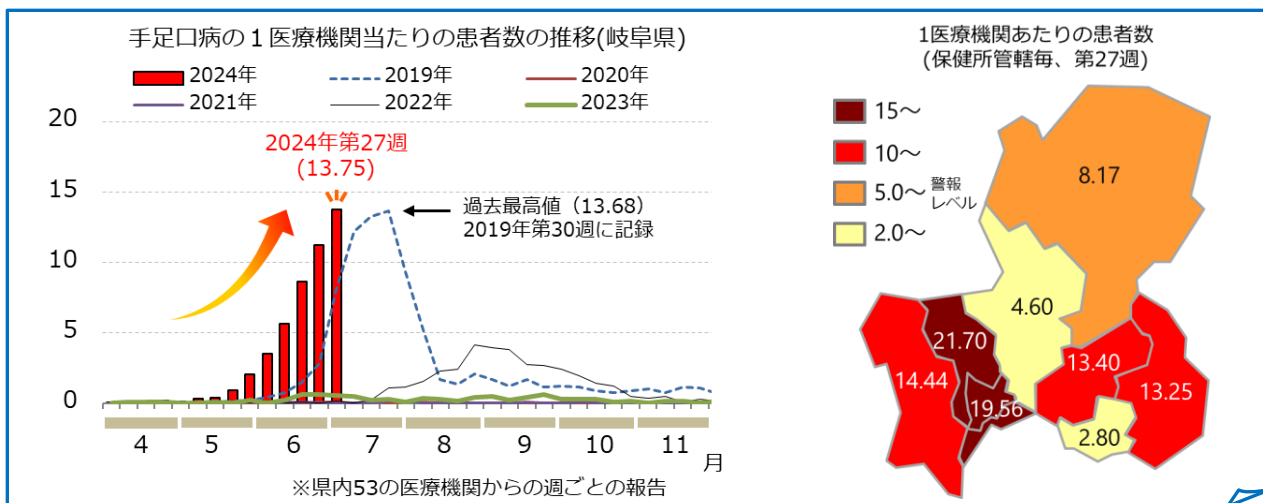
# ぎふ感染症かわら版



令和6年7月11日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

## 手足口病の患者報告数が過去最高になりました！

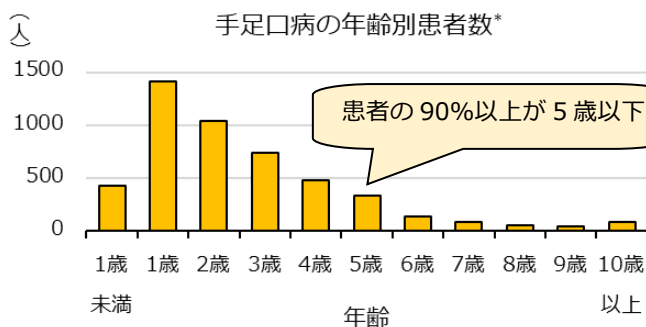
岐阜県全域での第27週（7/1～7/7）の患者報告数が、調査を開始した1999年以降で最も高い、1医療機関当たり13.75となり、地域別では特に岐阜圏域（20.68）が高くなっています。今後、さらに増加する可能性が考えられるため、小さなお子様をお持ちのご家庭、保育施設や幼稚園では、感染予防対策をお願いします。



## 保育施設や幼稚園などでの集団感染にご注意ください

手足口病の主な症状は、感染してから3～5日後に手のひら、足の裏や甲、口の中などに小さな水疱（水ぶくれ）が現れ、また軽い発熱がみられることもあります。

この感染症にかかりやすい年齢層が集団で生活している施設などでは、感染が拡がりやすく、注意が必要です。



\*2018/12/31～2019/12/29に報告された患者4820人の内訳

## 集団感染を予防するために

- 手洗いは石けんと流水で行い、タオルは共用しない。
- 唾液のついたおもちゃなどは洗浄・消毒をしましょう。
- 排泄物を適切に処理する。



特にトイレの後やおむつ交換をした後は、石けんで手を洗いましょう。

※便へのウイルス排せつは、症状が治まった後も2～4週間続くことがあり、長い間、周りの人への感染源となるので注意が必要です。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

